

当院での過酢酸洗浄剤変更による効果の検証

梶間 勝善¹木下 和樹¹伊藤 靖¹渡辺 雅也¹栗田 聡子¹成田 敏明²竹内 順次²

(医) 仁聖会碧南クリニック¹西尾クリニック²

【目的】

防錆剤含有の過酢酸洗浄剤 Cure-X2 に変更し、その効果を検証する。

【方法】

2012/09～キノーサン PA-400+キノーサン R-100 の 2 剤使用から Cure-X2 に変更し、効果の評価として ET 値 (比色比濁法)、生菌数(MTGE 培地)、コンソール内ステンレスパーツの錆・カプラーホース内の残 Ca の観察(当院スケール)、コスト面の比較を行った。

【結果】

2 剤使用時と比較し、ET 値、生菌数、カプラーホース内残 Ca に有意差は認められなかった。ステンレスパーツの錆は変化なく、浸食が進行することは見られなかった。コスト面は約 2 割削減できた。

【考察】

Cure-X2 は防錆効果を有しており、錆の浸食進行を抑えることができ、また洗浄能力でも 2 剤使用時と同等の効果を得ることができると考えられる。

【結語】

今回の検証では期間が短く長期での観察が必要であると考え。短期間ではあるが Cure-X2 での洗浄効果、防錆効果を得ることができ、またコストパフォーマンスも抑えることのできる有用な過酢酸洗浄剤であると思われる。